

希望の党 公認

たたかう庶民派

まづばら仁

衆議院議員候補・元拉致問題担当大臣

じん



プロフィール

- ・1956年生まれ
- ・早稲田大学法学部卒
- ・2000年衆議院議員初当選
(以降6期連続)
- ・国家公安委員長
- ・新政府副担当大臣
- ・消費者担当大臣
- ・拉致問題 幹事長

私の決意

私は、民進党を離党し希望の党の創設メンバーとしてたたかうことを決意した。北朝鮮問題が北東アジアをますます不安定にする中、今日の政治への不満や不安の受け皿になるあたらしい保守改革新党が強く求められている。私はこれまで庶民力復活と格差是正を訴えてきた。最大の国内問題である少子化に歯止めをかけるには格差是正が必須であり、社会の活性化には庶民力復活が欠かせない。加えてわが国の産業がグローバル経済で勝利する戦略が遅れている。しがらみ無くゼロベースから具体的方向性を作り上げることが出来る新党には、今までの発想を越えた柔軟かつ大胆な取組みを実現するマグマとダイナミズムがあると確信し、あえてこの決断をした次第である。

平成二十九年九月二十七日 結党の日

まづばら仁

9 新しい行政区割による 地方大改革!

- 道州制、大阪都構想のような新しい地方行政の枠組を創ることで、既存の枠を越えた抜本的行政改革が可能にする。
- 国と地方の選挙制度の一致。国は小選挙区、地方は中選挙区という中途半端な現状を打破、国と地方の統一的な選挙制度による政治のダイナミズムを創出。



10 脱原発。エネルギー革命 離島資源を活かす!

- 原発ゼロに向けたアクションプランを策定。我が国の誇る自然と技術力で日本発のエネルギー革命へ。
- 島しよ部の自然や海洋資源の活用。
- 羽田空港問題に対し住民目線で安全性や環境影響などを再検討する。
- ベットの救済分問題に、流通の段階から見直す。



11 子育て・介護・医療 すべての世代に安心を

- 子どもを産み育てやすい東京へ、待機児童解消に全力を尽くし、幼児期から大学までの教育費負担を軽減する。保育士や介護士など福祉人材の待遇を改善する。
- 介護ロボットを導入など福祉現場への先端技術の導入を図るとともに、認知症対策の強化や介護施設の拡充を図る。

